



# 2020年3月期 決算補足説明資料

株式会社インターネットインフィニティ

<証券コード：6545>

2020年5月15日



# 通期で過去最高の売上高を達成

前期比

売上高	：	3,575	百万円	▲	+212	百万円
営業利益	：	216	百万円	▲	+124	百万円
当期純利益	：	122	百万円	▲	+ 57	百万円

## 業績の主な要因

- レコードブック事業におけるフランチャイズの店舗数増加に加え既存店の稼働率向上等に伴う増収増益が大きく貢献
- 一方で下期の新規出店数は主に地方FC加盟店確保に苦戦し当初計画を未達
- 新規のメディカルソリューション分野の受注も下期は低調な推移
- 期末間近には、新型コロナウイルス感染症の拡大により、主にレコードブック事業において利用控えが進む

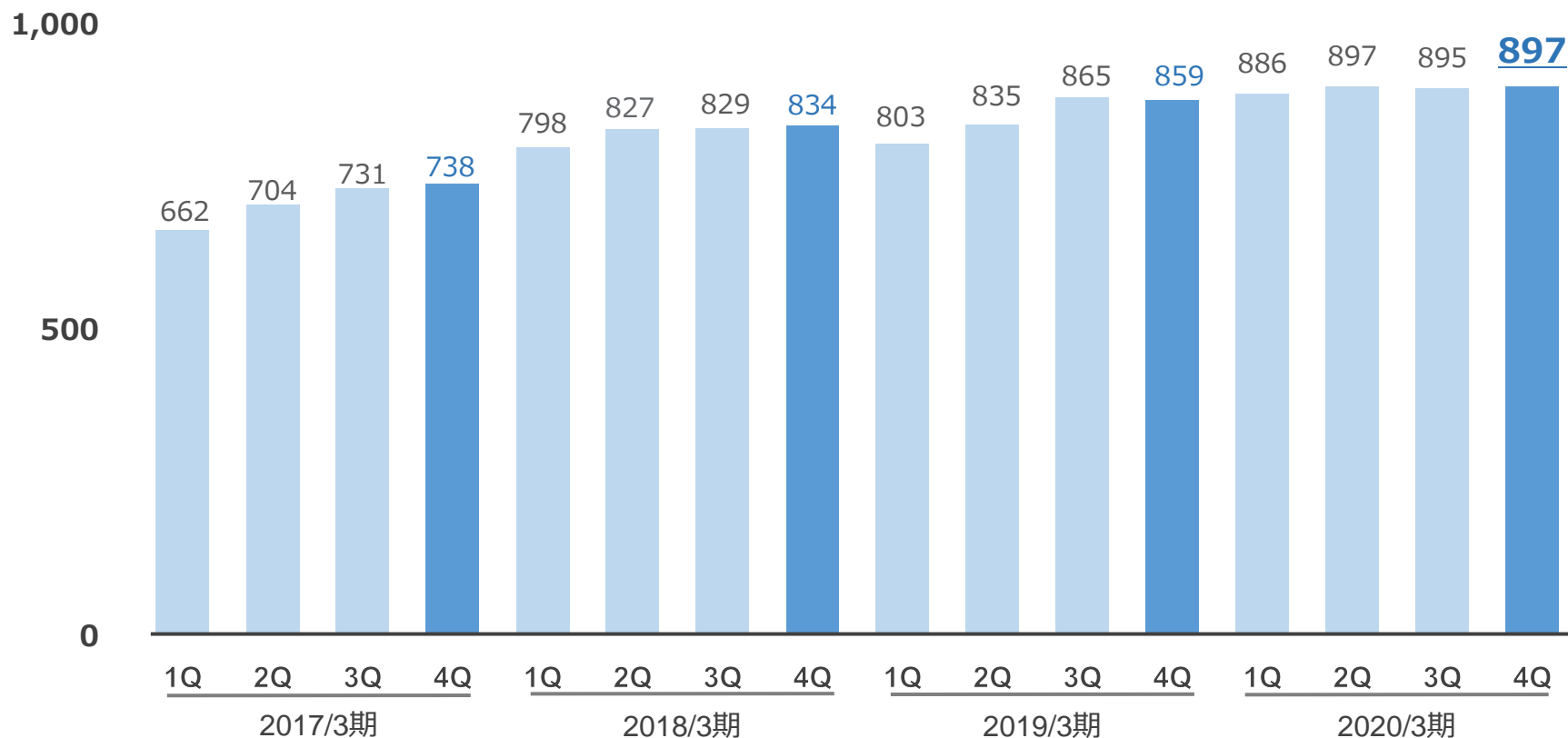
## 前期比 増収増益、利益率も大きく改善

(単位：百万円)	2019/3期	2020/3期	増減額
売上高	3,363	<b>3,575</b>	+ 212
営業利益	92	<b>216</b>	+ 124
(営業利益率)	(2.8%)	<b>(6.1%)</b>	(+3.3P)
経常利益	103	<b>216</b>	+ 112
(経常利益率)	(3.1%)	<b>(6.1%)</b>	(+3.0P)
当期純利益	64	<b>122</b>	+ 57
(純利益率)	(1.9%)	<b>(3.4%)</b>	(+1.5P)

- ✓ レコードブックのフランチャイズ店舗数は前期末比+26店舗  
⇒ ロイヤルティの積上げ等により前年同期比では引き続き売上増加傾向
- ✓ 下期にかけては、新規出店が伸びなかったことによる影響や、  
在宅サービス事業の有資格者減の影響による売上減少等により、ほぼ横ばいに

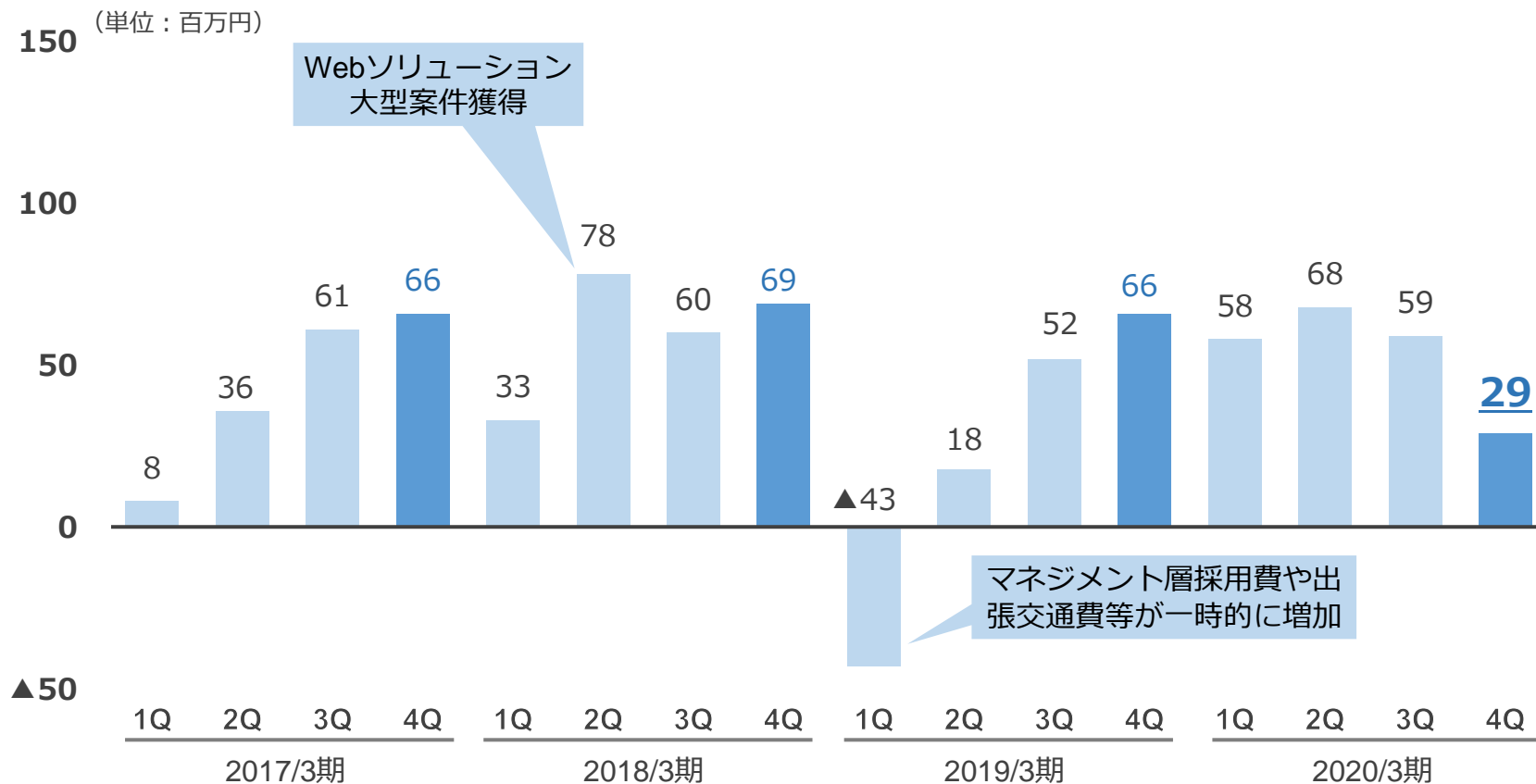
売上高（四半期会計期間）

(単位：百万円)



- ✓ レコードブック事業では、ベースとしてフランチャイズ店の稼働率向上が寄与するも、期末にかけては新型コロナウイルス感染拡大の影響により直営店も含め稼働率が下降したため利益が減少
- ✓ 下期にかけての利益縮小は在宅サービス事業の売上減も影響

営業利益（四半期会計期間）



ヘルスケアソリューション事業

1,908百万円

53.4%(前年同期比+5.1P)

レコードブック事業

運動指導に特化した3時間の  
リハビリ型デイサービスを提供



事業別  
売上構成比  
2020年3月期

2019/3期

在宅サービス事業

34.1%(前年同期比▲3.4P) 1,218百万円

在宅サービス事業

居宅介護支援事業  
訪問介護事業  
通所介護事業



豊かな日常生活のお手伝い  
クローバーケアステーション

わかるかいぞ  
相談センター

5.1%(前年同期比▲0.9P)

ケアサプライ事業+新規事業

福祉用具のレンタル・販売

184百万円



7.4%(前年同期比▲0.8P)

Webソリューション事業

シルバーマーケティング支援  
仕事と介護の両立支援

264百万円

介護支援専門員サイト  
ケアマネジメント  
オンライン

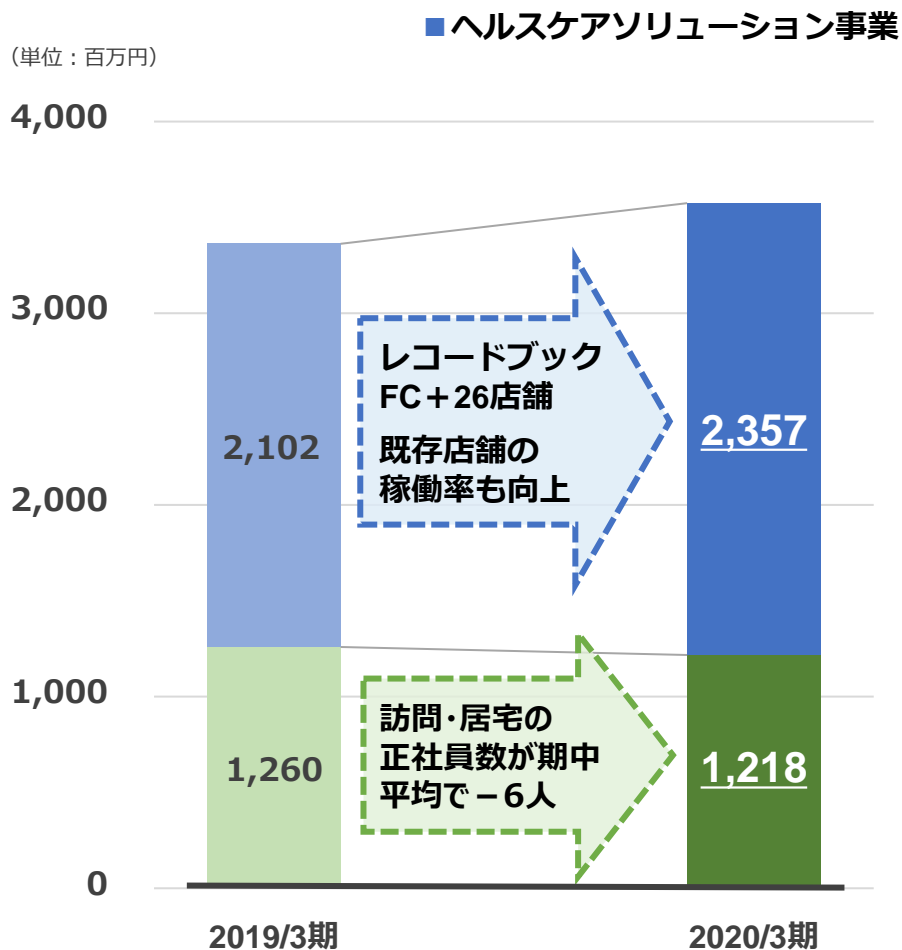
CARE MANAGEMENT ONLINE

仕事と介護の両立支援サイト

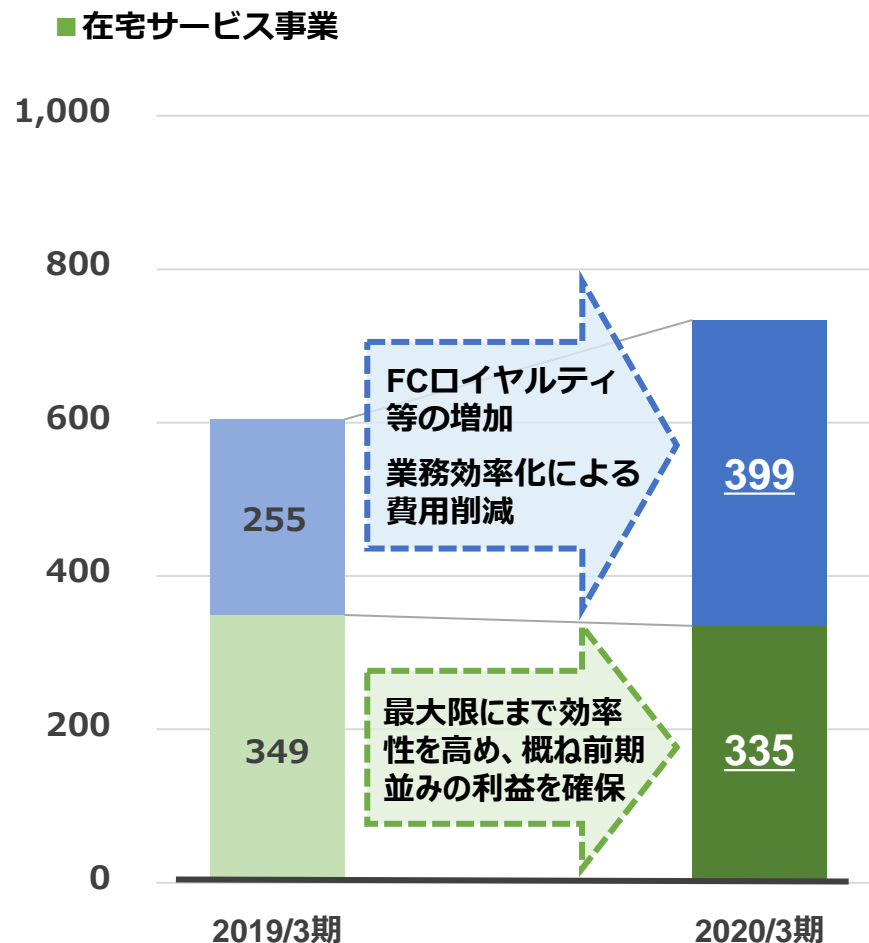
わかるかいぞ Biz

# ヘルスケアソリューション事業が増収、大幅増益

セグメント別売上高



セグメント別営業利益（調整前）



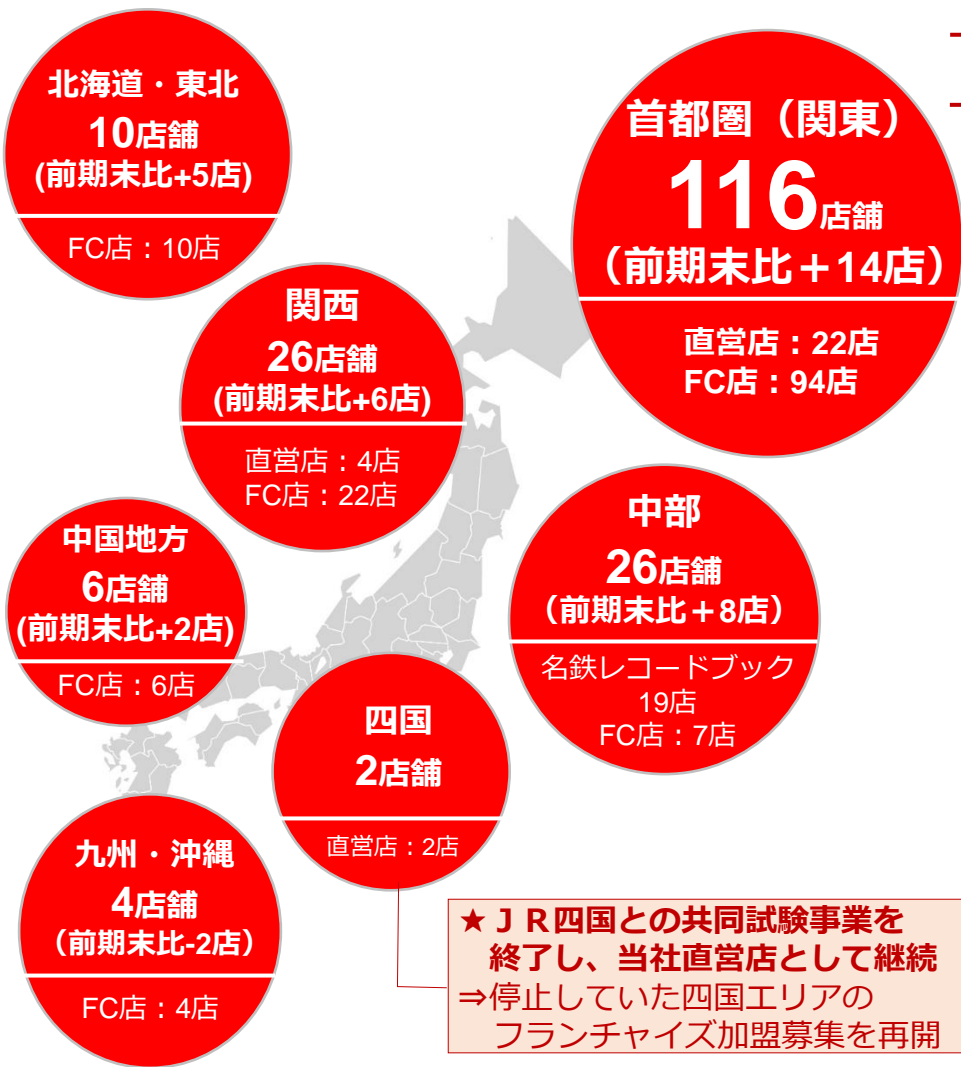
## レコードブックFC店の伸びが成長をけん引

	(単位：百万円) 2019/3期			2020/3期			増減額 (増減率)	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益	売上高	営業利益
ヘルスケアソリューション事業 計	2,102	62.5%	255	2,357	65.9%	399	+254 (+12.1%)	+143 (+56.1%)
レコードブック	1,624	48.3%	186	1,908	53.4%	307	+284 (+17.5%)	+120 (+64.7%)
直営店	944	28.1%	118	986	27.6%	135	+42	+16
FC店	679	20.2%	68	921	25.8%	172	+241	+104
Webソリューション	275	8.2%	64	264	7.4%	45	▲11 (▲4.1%)	▲19 (▲29.9%)
シルバーマーケティング	129	3.9%		91	2.6%		▲38	
仕事と介護の両立支援	145	4.3%		132	3.7%		▲13	
メディカル	—	—		40	1.1%		+40	
その他 (ケアサプライ+新規事業)	202	6.0%	4	184	5.1%	46	▲18 (▲9.0%)	+41 (+920.6%)
在宅サービス事業 計	1,260	37.5%	349	1,218	34.1%	335	▲42 (▲3.3%)	▲13 (▲4.0%)
調整額	—	—	▲513	—	—	▲518	— (—)	▲5 (—)
合計	3,363	100%	92	3,575	100%	216	+212 (+6.3%)	+124 (+134.0%)

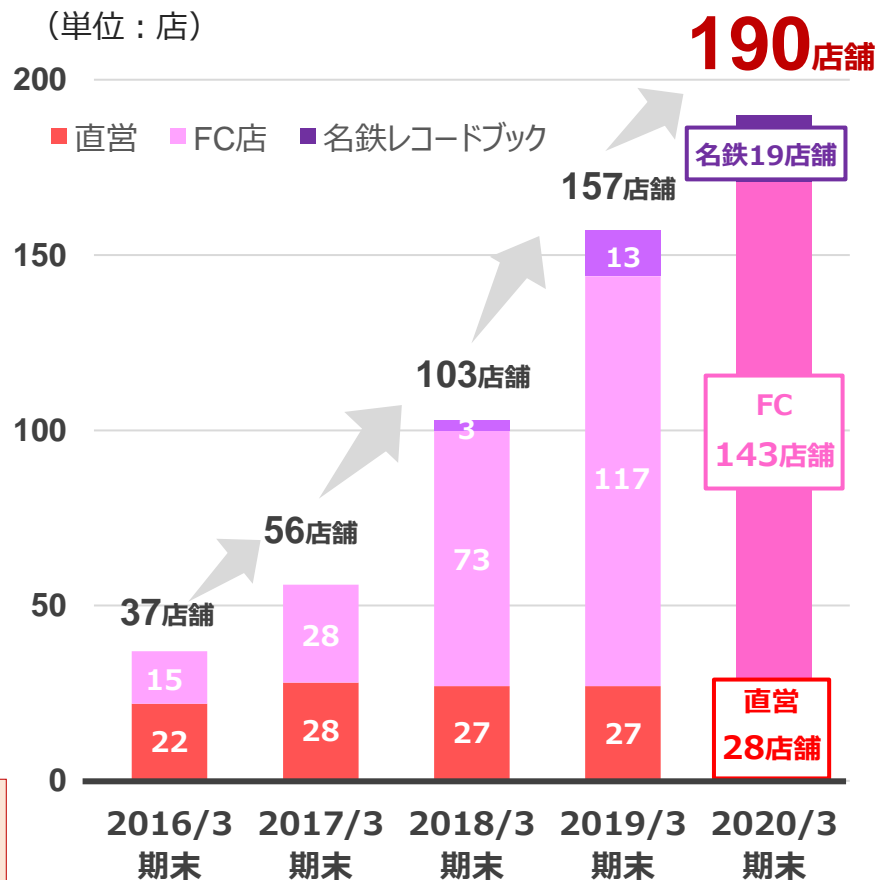


# レコードブック・ブランド全体で190店舗に成長

⇒当期中に直営1店舗、フランチャイズ26店舗、名鉄レコードブック6店舗の増加



レコードブック店舗数推移



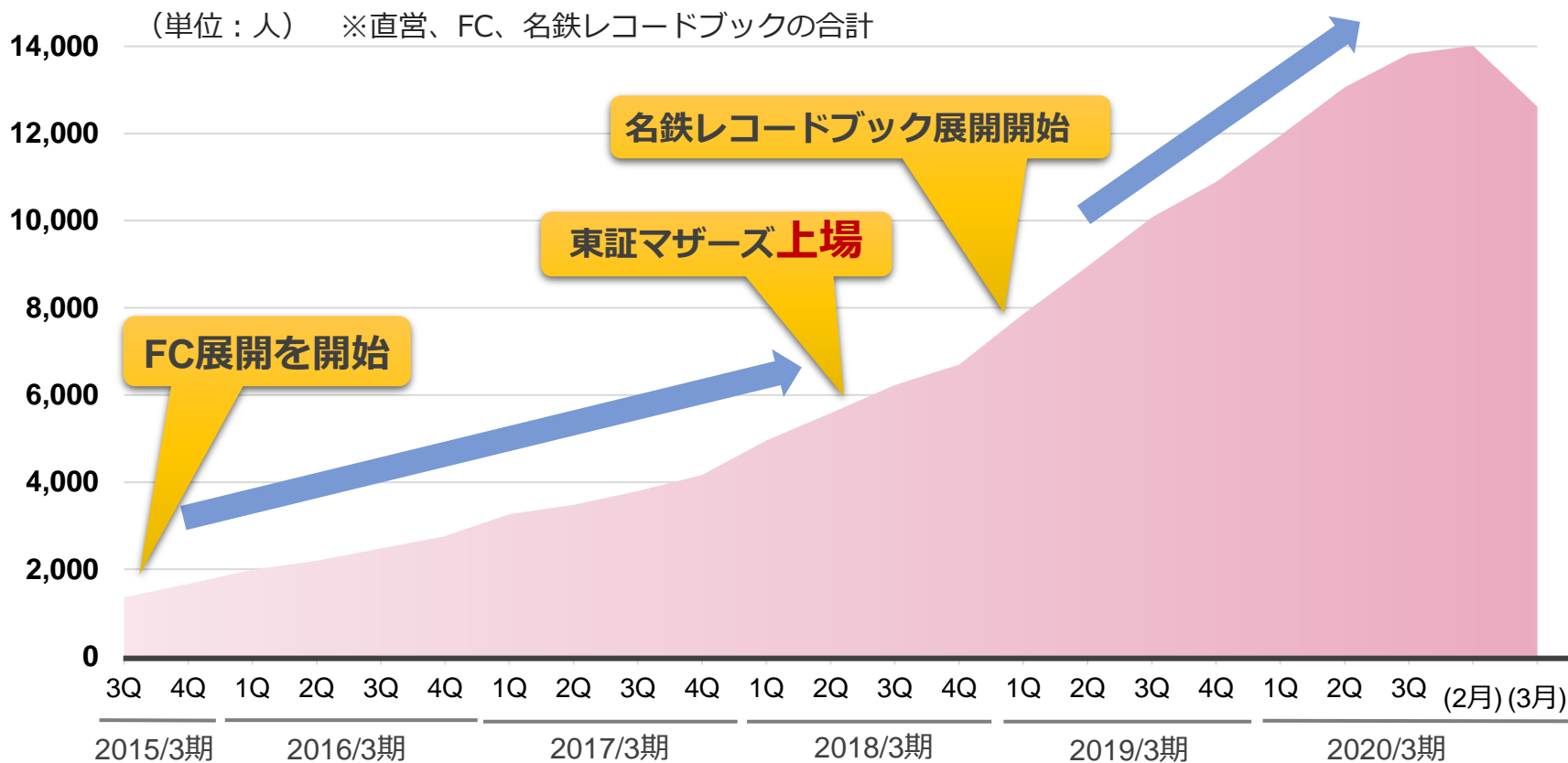
(2020年3月末現在)

# 2020年2月に月間利用者数※14,000人を突破

## 2020年3月は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて減少に

※月に1回以上ご利用いただいているアクティブユーザー数

### レコードブック 月間利用者数推移



## レコードブック事業

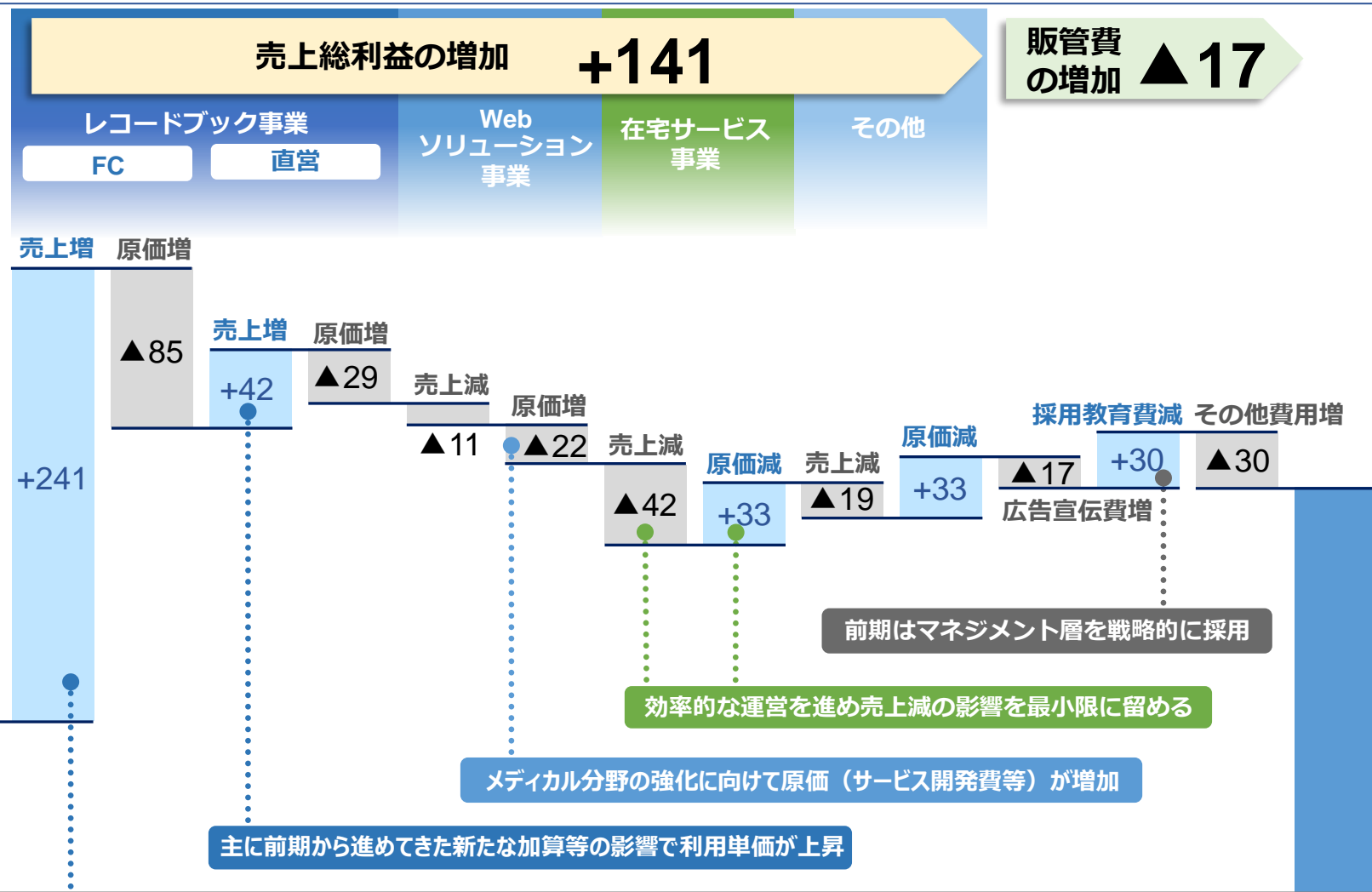
- ✓ フランチャイズ店舗数は、前期末比26店舗の増加  
⇒ロイヤルティ収入等が店舗数の増加に比例して主な増収増益の要因に
  - ✓ 主に地方におけるFC新規出店数が伸びず、出店数は前期比12店舗減
  - ✓ 介護報酬改定により低下した単価は、前期より進めてきた新たな加算の取得に加え、下期からは介護職員特定処遇改善加算の取得等で上昇へ
  - ✓ 期末間近になり、新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛要請によって利用控えが進み稼働率が低下
- ※ 想定していた収益を見込めなくなった一部店舗の固定資産については減損損失（特別損失）を計上

## Webソリューション事業

- ✓ シルバーマーケティング支援は顧客層の拡大に苦戦し減収
- ✓ メディカルソリューション分野は当期より受注を開始するも受注拡大に向け並行してサービス強化も進めているため費用も増加

## 在宅サービス事業

- ✓ 介護人材の採用難等の影響により有資格者の減員傾向が続き、サービス提供量の減少によって前期比で売上減少  
⇒効率的な運営等による工夫で利益への影響は最小限に留める



主に前期から進めてきた新たな加算等の影響で利用単価が上昇

メディカル分野の強化に向けて原価（サービス開発費等）が増加

効率的な運営を進め売上減の影響を最小限に留める

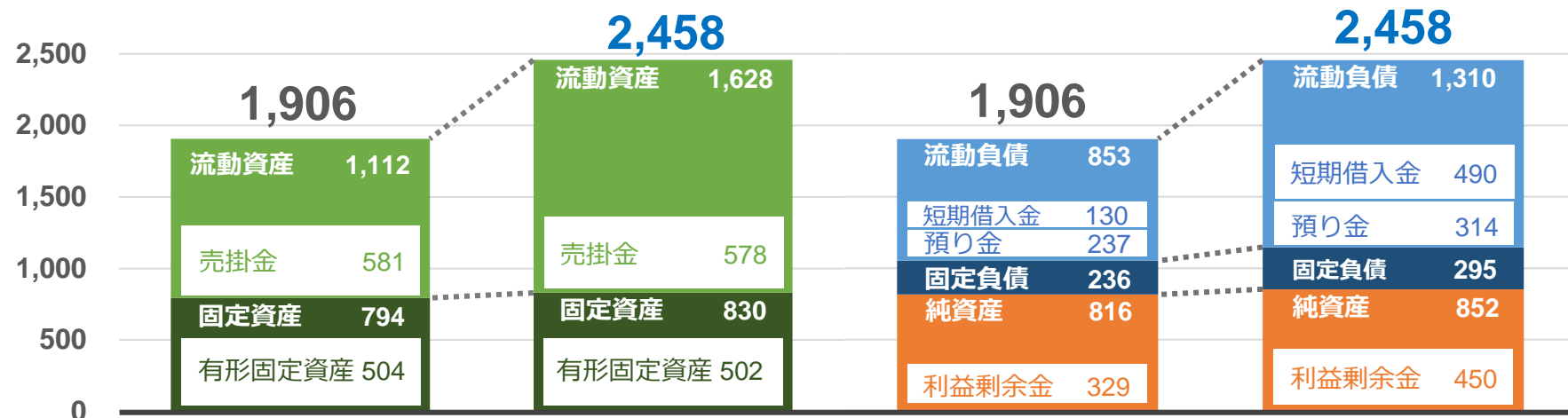
前期はマネジメント層を戦略的に採用

前期末117店舗→当期末143店舗へ26店舗の増加

92  
2019/3期

216  
2020/3期

# 2020年3月期 貸借対照表



(単位：百万円)

2019/3期

2020/3期

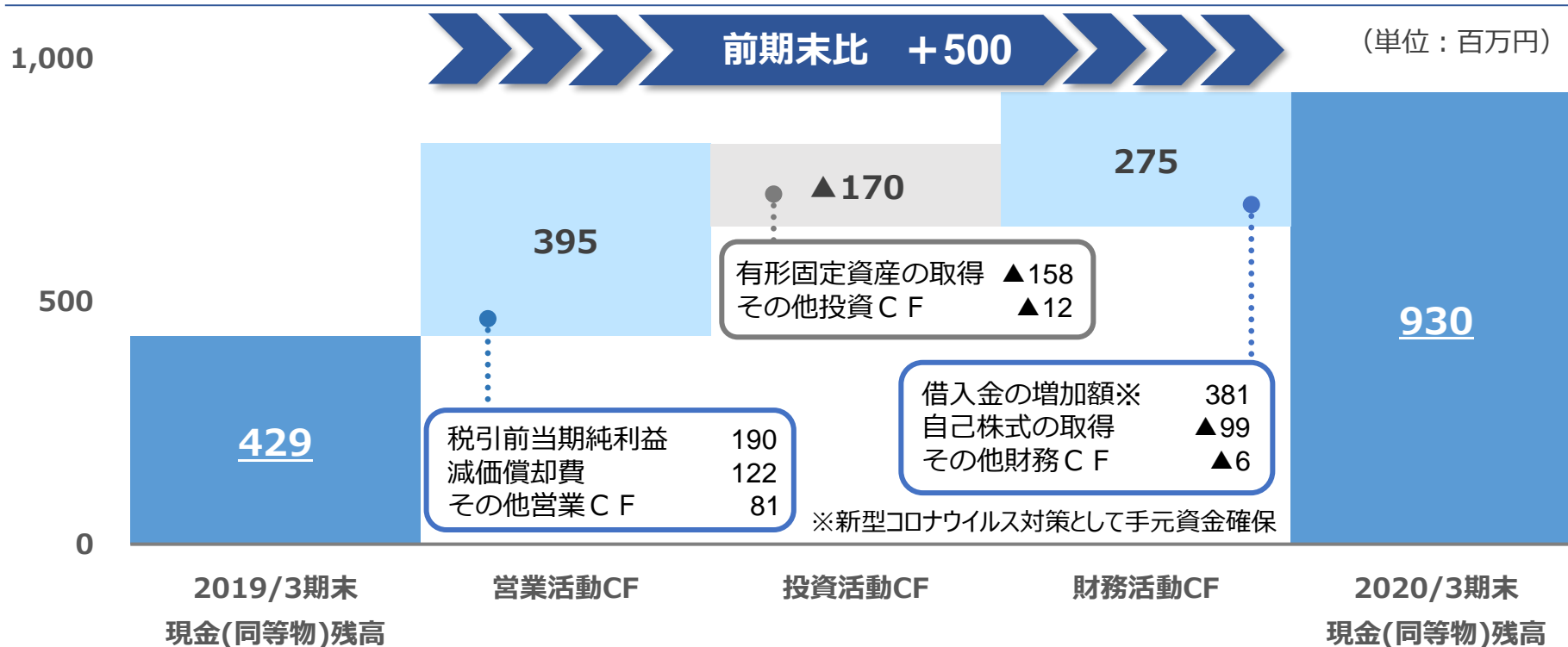
2019/3期

2020/3期

	2019/3期	2020/3期	増減額
<b>流動資産</b>	1,112	1,628	+515
現金・預金	429	930	+500 <sup>②</sup>
売掛金	581	578	▲3
その他	100	120	+19
<b>固定資産</b>	794	826	+36
有形固定資産	504	502	▲2
無形固定資産	23	23	+0
投資その他資産	265	304	+38
<b>資産合計</b>	<b>1,906</b>	<b>2,458</b>	<b>+552</b>

	2019/3期	2020/3期	増減額
<b>流動負債</b>	853	1,310	+457
短期借入金	130	490	+360 <sup>②</sup>
預り金	237	314	+76 <sup>①</sup>
その他	485	506	+20
<b>固定負債</b>	236	295	+58
長期借入金	141	187	+46 <sup>②</sup>
その他	95	108	+12
<b>純資産合計</b>	816	852	+36
資本金	250	252	+1
資本剰余金	486	489	+3
利益剰余金	329	450	+121
自己株式	▲0	▲87	▲87 <sup>③</sup>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,906</b>	<b>2,458</b>	<b>+552</b>

- ① 主にレコードブック フランチャイズ店舗増店により増加
- ② 新型コロナウイルス対策として当面の手元資金を確保
- ③ 2019年5～6月に市場買付により取得  
当期中に一部を処分し譲渡制限付株式報酬として割当



	2019/3期	2020/3期	前期比 (増減額)
営業活動 C F	153	395	+241
投資活動 C F	▲167	▲170	▲2
財務活動 C F	38	275	+236
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	24	500	+475
現金及び現金同等物の期首残高	405	429	+24
現金及び現金同等物の期末残高	429	930	+500

# 2021年3月期 業績見通し

# 2021年3月期 業績見通し



## 新型コロナウイルスの影響を一定の前提条件で考慮して算出

(単位：百万円)	2020/3期 通期実績	2021/3期 通期予想	前期比 増減率
<b>ヘルスケアソリューション事業</b>	2,357	<b>2,087</b>	<b>▲11.4%</b>
レコードブック	1,908	<b>1,672</b>	<b>▲12.4%</b>
直営店	986	<b>850</b>	<b>▲13.8%</b>
FC店	921	<b>822</b>	<b>▲10.8%</b>
Webソリューション	264	<b>225</b>	<b>▲14.6%</b>
その他 (ケアサプライ等)	184	<b>189</b>	<b>+2.9%</b>
<b>在宅サービス事業</b>	1,218	<b>1,185</b>	<b>▲2.7%</b>
<b>売上高 計</b>	3,575	<b>3,273</b>	<b>▲8.5%</b>
<b>営業利益</b> (営業利益率)	216 (6.1%)	<b>52</b> (1.6%)	<b>▲75.7%</b>
<b>経常利益</b> (経常利益率)	216 (6.1%)	<b>45</b> (1.4%)	<b>▲79.1%</b>
<b>当期純利益</b> (純利益率)	122 (3.4%)	<b>29</b> (0.9%)	<b>▲76.0%</b>

## 新型コロナウイルスの影響を一定の前提条件で考慮して算出

	(単位：百万円)			2020/3期			2021/3期			増減額 (増減率)	
	売上高	構成比	営業利益	売上高	構成比	営業利益	売上高	営業利益			
<b>ヘルスケアソリューション事業 計</b>	<b>2,357</b>	<b>65.9%</b>	<b>399</b>	<b>2,087</b>	<b>63.8%</b>	<b>243</b>	▲269 (▲11.4%)	▲155 (▲39.0%)			
<b>レコードブック</b>	<b>1,908</b>	<b>53.4%</b>	<b>307</b>	<b>1,672</b>	<b>51.1%</b>	<b>135</b>	▲235 (▲12.4%)	▲171 (▲55.9%)			
直営店	986	27.6%	135	850	26.0%	56	▲136	▲78			
FC店	921	25.8%	172	822	25.1%	79	▲99	▲93			
<b>Webソリューション</b>	<b>264</b>	<b>7.4%</b>	<b>45</b>	<b>225</b>	<b>6.9%</b>	<b>48</b>	▲38 (▲14.6%)	+3 (+7.9%)			
<b>その他 (ケアサプライ+新規事業)</b>	<b>184</b>	<b>5.2%</b>	<b>46</b>	<b>189</b>	<b>5.8%</b>	<b>59</b>	+5 (+2.9%)	+12 (+27.5%)			
<b>在宅サービス事業 計</b>	<b>1,218</b>	<b>34.1%</b>	<b>335</b>	<b>1,185</b>	<b>36.2%</b>	<b>292</b>	▲33 (▲2.7%)	▲43 (▲13.0%)			
<b>調整額</b>	—	—	▲518	—	—	▲483	— (—)	+35 (—)			
<b>合計</b>	<b>3,575</b>	<b>100%</b>	<b>216</b>	<b>3,273</b>	<b>100%</b>	<b>52</b>	▲302 (▲8.5%)	▲164 (▲75.7%)			

	1Q	2Q	3Q	4Q	見通しの前提
<b>外部環境</b>	×	▲	●	●	1Qが感染拡大のピーク。外出自粛等の経済活動の制限により景気が大幅に落ち込む。 2Qが回復途上、3Q以降に正常化の想定。
<b>ヘルスケアソリューション事業</b>	<b>売上・利益 前期比</b>				
<b>レコードブック</b>	↓	↓	↘	↘	新規出店は1Q中心に営業活動を大幅縮小、年間出店数は当期比で大幅減。既存店舗（直営・FC）は1Q中、利用控えの影響を強く受け2Q以降徐々に回復。利益面は新規出店減に伴う原価減少、店舗の人員配置調整による人件費の減少※等を想定。
<b>Webソリューション</b>	↓	↓	→	→	1Qは新規顧客獲得に向けた直接訪問による営業活動が制限。利益面は売上減に伴う原価減少や人件費の減少※、広告宣伝費の削減等を想定。
<b>その他 (ケアサプライ等)</b>	↘	→	↗	↗	1Qに若干落ち込むが、在宅での福祉用具等の需要増を想定。
<b>在宅サービス事業</b>	↘	→	→	→	訪問・通所は1Qに若干落ち込むが2Qに回復、3Q以降平常化。居宅は年間通じて大きな影響はなし。

※人件費の削減は一部休業する従業員の雇用調整助成金活用を想定

## 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々及びご家族・関係者の皆様に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。  
当社は一日も早い収束を願い、介護サービスを継続的に提供していくことで社会に貢献してまいります。

当社では災害対策本部（本部長：代表取締役社長 別宮圭一）を設置し、以下の取組みを実施いたしました。

	実施したこと
従業員	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会インフラとしての役割、従業員とその家族の安全を両立させるため、全社をA/B班に分けた勤務体制を開始。 （A班）介護サービス事業所を継続的に運営。（人員基準の緩和、シフト調整により輪番対応） （B班）本社を中心に在宅勤務あるいは休業。（本社オフィス出社者を9割減）</li><li>・休業者に対して100%の休業補償</li><li>・ネットワーク環境の整備、テレビ会議システム等を利用した在宅勤務体制の構築</li></ul>
事業所・ご利用者 （FC含む）	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用の際の検温、手洗い等の徹底</li><li>・新型コロナウイルス予防対策マニュアル</li><li>・通所介護ご利用者を対象とした訪問サービス、見守りサービスの開始</li><li>・レコードブックアプリの無料提供</li><li>・自宅で出来るレコードブック運動プログラム動画の無料配信</li><li>・FC向け業務支援（融資・助成金に関するサポート、家賃等コスト削減交渉等サポート）</li></ul>
社会的責任	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会インフラとして重要な役割を担っていることを鑑み、引続き十分に感染拡大防止対策を徹底することを前提に、介護サービスを継続して運営</li></ul>

### （今後の取組み・方針）

同感染症の収束ののち、経営方針として「介護事業のポートフォリオ分散」や「医療との連携」、既存顧客基盤をベースとした「保険外事業」といったことにチャレンジしていきたいと考えております。

---

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

問合せ窓口：経営企画部  
Email: [ir@iif.jp](mailto:ir@iif.jp)